



第20期 株主通信

2025年1月1日～6月30日

証券コード：4927

■ 社長メッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第20期第2四半期(2025年1月1日～6月30日)の国内化粧品市場は、コロナ後の回復が一段落し微増となりました。中国市場は先行き不透明な状況が続いており、事業環境も依然として厳しい状況です。

このような市場環境のもと、2024年からスタートした中期経営計画(2024年から2026年)に基づき取り組みを進めた結果、第2四半期は基幹ブランドであるポーラの売上高が前年を下回りグループ連結で減収となりましたが、ポーラの減収幅は着実に縮小してきております。営業利益はポーラ・Jurliqueの販管費の削減等により増益となりました。長期経営計画VISION 2029の折り返しの年にあたる本年、新たなグループ経営体制のもと、まずは早期の業績回復に向けた足固めとブランド力の更なる強化を図ってまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利益還元につきましては、当期の中間配当は1株につき21円とさせていただきます。

ポーラ・オルビスホールディングスの第20期株主通信をご高覧いただけますと幸いです。

代表取締役社長 横手喜一



■ 経営計画

■ VISION 2029

多様化する
「美」の価値観に応える
個性的な事業の集合体

■ 2024-2026年 中期経営計画

基本方針	VISION 2029達成に向けた「再挑戦と成長基盤確立の3年間」	
4つの 事業成長戦略	戦略 1	国内事業の顧客基盤強化、持続的成長と収益性改善
	戦略 2	海外事業の更なる成長と新市場での基盤確立
	戦略 3	育成ブランドの成長を伴う黒字化による持続的収益貢献
	戦略 4	ブランドポートフォリオ拡充と事業領域拡張
持続的な 経営基盤強化	戦略 5	新価値創出に向けた研究開発力強化
	戦略 6	社会課題対応と独自性を兼ね備えたサステナビリティ強化

■ 業績について

業績の詳細は [第2四半期決算短信](#)、[決算説明会資料](#) にてご確認ください

■ 第2四半期の実績と通期見通し

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:億円) ■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)

項目	2024	2025
売上高	838	1,703
営業利益	73	138
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	75	92
1株当たり配当金	21	21

2025年実績は通期見通しに基づき、2025年売上高は1,740(見通し)、営業利益は145(見通し)、中間配当は85(見通し)、期末配当は52(見通し)と見込まれます。

売上高は、主にポーラが前年同期を下回りグループ連結で減収となったが、ポーラの減収幅は着実に縮小。一方、営業利益はコストの削減・抑制と投資時期を含めた最適化等を進めたことにより増益。下半期は、ポーラにおいてエステやB.Aといった大型の新商品・サービスをきっかけに顧客基盤の安定化や成長店舗群の成長加速を進めると同時に、費用対効果を見極めながらも販売投資を適切に実行していく。これらの結果として、グループ連結での通期見通し達成を目指す。

業績について

事業別業績

ビューティケア事業

主にポーラの減収により売上高は前年同期を下回ったが、営業利益はポーラやJurliqueを中心とした費用コントロール等により前年同期を上回る。

売上高

80,200百万円
(前年同期比 1.4%減)

営業利益

8,064百万円
(前年同期比 2.2%増)

不動産事業

魅力的なオフィス環境整備による賃料の維持向上や空室率低下に取り組む中で、昨年に竣工したポーラ青山ビルディングの稼働により、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る。

売上高

1,488百万円
(前年同期比 49.5%増)

営業利益

431百万円
(前年同期より431百万円改善)

その他

ビルの運営管理の好調により売上高は前年同期を上回ったが、営業利益は高単価が見込まれる工事の減少により前年同期を下回る。

売上高

1,564百万円
(前年同期比 3.0%増)

営業利益

70百万円
(前年同期比 50.2%減)

ビューティケア事業ブランド別業績

POLA

売上高

44,490百万円
(前年同期比 3.2%減)

営業利益

5,202百万円
(前年同期比 0.8%減)

ブランド全体で減収となったものの、販売関連費の最適化により営業利益は前年同期並み。国内の委託販売事業においては、成長店舗群の売上伸長が続くとともに、既存のお客さまの減少傾向が緩和し、減収幅が縮小。中国事業は採算性の改善に向けた店舗展開の見直しを実行。

ORBIS

売上高

24,785百万円
(前年同期比 3.3%増)

営業利益

4,194百万円
(前年同期比 7.2%減)

既存のお客さまの安定した増加により顧客基盤の強化が進んだことに加え、化粧品専門店等の外部チャネルで高い売上成長率を維持したことが影響し、ブランド全体で増収が継続。戦略商材として発売したブランド初のクレンジングオイルは好調に進捗しているが、拡販に向けた投資を行ったことで減益。

Jurlique

売上高

3,699百万円
(前年同期比 9.8%減)

営業利益

△926百万円
(前年同期より647百万円改善)

第2四半期単独での売上は、豪ドルベースで前年同期並みとなったものの、主に豪州及び中国の厳しい市場環境において苦戦が継続。一方で、組織構造改革やコストコントロールの継続により営業損失は改善。

育成ブランド

DECENCIA THREE FUJIMI

売上高

7,225百万円
(前年同期比 0.5%減)

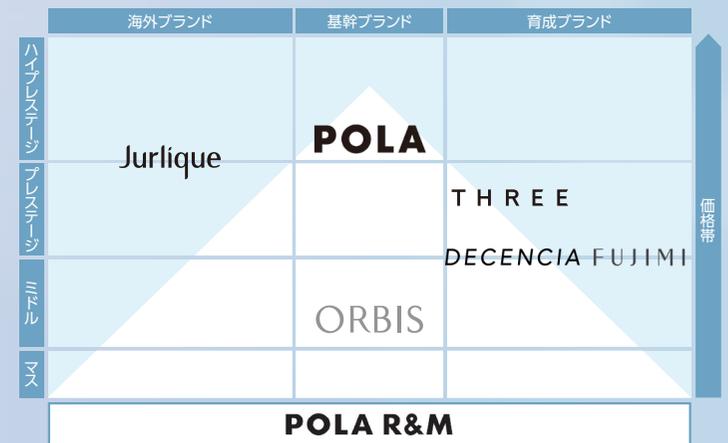
営業利益

△405百万円
(前年同期より105百万円減)

DECENCIAは更なる成長に向け、店舗の出店を進める等お客さまとの接点拡大に注力し、増収増益。THREEは売上高・営業利益ともに前年同期を下回るも、戦略的に取り組んでいるホリスティックケア商材の売上構成比が着実に増加。

Topics 2025年グループ経営体制の刷新について

当社グループでは、時代とともに変化していくライフスタイルや価値観に添えていけるよう、それぞれ異なるコンセプト、価格帯、販売チャネルを持つブランドポートフォリオを展開しています。ライフスタイル・価値観の多様化が進み、変化のスピードが加速する現代において、ブランド力を更に強化するには、これまでそれぞれのブランドが築き上げてきた価値に加え、多様な価値観や新たな発想・視点の導入が不可欠です。こうした考えから、2025年1月にビューティケア事業の3つのブランドにおいて経営体制を刷新しました。DECENCIAやオルビスにおいてマーケティングや効果的なコミュニケーションを実現してきた小林琢磨がポーラの社長に、ポーラの高付加価値ブランド創出やDECENCIAの安定した顧客基盤の積み上げを行ってきた山口裕絵がオルビスの社長に、オルビスの取締役を務めブランドの進化を牽引してきた西野英美がDECENCIAの社長に就任しました。3人がそれぞれ異なるブランドを率いて培ってきた様々な価値観や経験を、またそれぞれ異なる個性を持つブランドに掛け合わせていくことで、新たな進化を目指します。



POLA



株式会社ポーラ
代表取締役社長
小林 琢磨

2002年ポーラ入社。DECENCIA代表としてブランドを急成長に導いた後、オルビス代表として事業の在り方を大きく変える構造改革を目的としたリブランディングを推進、業績回復へ導いた。

人から人へ最良のものをお届けする、という創業の精神とともに、高い研究開発力から生み出される商品とそれを伝えていくためのクリエイティブ、そして地域に根差した全国の販売現場こそ、ポーラの独自価値であると考えています。この独自価値のもと、ダイレクトセリングの強みを活かして販売を科学し、お客さまからのブランド支持を高められるよう注力します。また、今年9月には主力シリーズである「B.A.」をリニューアルいたしました。一人でも多くの方に新しい「B.A.」を体感いただき、ポーラの業績回復へとつなげていきます。

ORBIS



オルビス株式会社
代表取締役社長
山口 裕絵

1999年ポーラ入社。広告宣伝・PR・商品企画等を歴任。「リンクルショット」シリーズのブランドマネージャーを経て、2021年よりDECENCIA代表として売上を再び成長軌道に乗せ、安定成長を実現。

オルビスは幅広い世代のとても沢山のお客さまに支えられておりますが、私たちが大切にしているのは、お客さまお一人おひとりに思いを馳せ寄り添うことです。日々のケアをもっと「こちよく」感じていただきたい。そのために私たちが何をすべきかヒントをもらうためにも、社員が直接お客さまに会い、商品の使い心地やオルビスへのご期待・ご要望を生々の声で伺う機会を数多く設けています。品質に磨きかけることはもちろん、ちょっとした不安や迷いにもできる限りお応えし、「これからもオルビスとともに」と思っただけのことを目指してまいります。

DECENCIA



株式会社DECENCIA
代表取締役社長
西野 英美

2002年オルビス入社。商品企画、ブランドデザイン、サステナビリティ推進などを担当。2023年よりオルビス初の女性取締役執行役員に就任しブランドの進化を牽引。

DECENCIAは「敏感肌に悩む方々の心と肌を解放するスキンケア」を提供しています。「肌の不公平をなくしたい」という創業から大切にしてきたパーパスに忠実に、「肌状態が不安なとき」にこそ、最も頼れる存在でありたいと考えます。商品だけにとどまらず、肌の不安から解放された先にある“美容の楽しさ”や“今日よりいい明日”を届けていくこと。それこそが、私たちが掲げる企業理念「愛とほんとうから、生きやすい明日をとどける。」の実現につながると思われ、これからも勢いを止めることなく歩みを進めてまいります。

Topics 新製品のご紹介

6/16 FUJIMI

商品詳細は [こちら](#)

プロテイン レモネード風味

爽やかな甘さとレモンの酸味を感じるレモネード風味のプロテインが数量限定で登場。コラーゲンなど独自の成分配合で美容をサポート。

※新規ご購入の方は、レモネード風味を含む3つのフレーバーのセットとしてお求めいただけます。



※無果汁

8/20 ORBIS

商品詳細は [こちら](#)

オルビス ザ リンクルセラム

シワ改善・美白*美容液「リンクルブライトセラム」が進化。よりスピード感を持ったお手入れを体感いただくことを目指し、有効成分の肌なじみと浸透**スピードアップを実現。

*メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐ

**角層まで



6/26 DECENCIA 商品詳細は [こちら](#)



ディセンシー

ブライトリフト ローション

おとなの敏感肌に、ベタつき感なくスツと心地よく浸透*し、遅いいうるおいと、まばゆい輝きの速攻両立ケア。特殊な乳化技術を搭載したオイルインローション誕生。

*角層まで

9/1 POLA

商品詳細は [こちら](#)

新B.A

ポーラ最高峰ブランド「B.A」がリニューアル。シリーズ誕生から40年の今年、B.Aが提唱するのは、時間の概念にとらわれずに、自分史上最高を目指す生き方。再生するような全域*ハリ肌を目指す。

*顔全体に使用すること



7/1 Jurlique 商品詳細は [こちら](#)

インテンスローズ ハンドクリーム インテンスローズ バランシングミスト

ブランド40周年を記念し、ジュリークの原点ともいえるハンドクリームとミスト化粧水に、オーガニック認証自社農園でしか栽培することができない新種のオリジナルローズ「インテンスローズ」エキス*を配合し発売。

*ガリカバラ花エキス(香り成分)

※数量限定



10/15 THREE

商品詳細は [こちら](#) (10月1日公開予定)

THREE エッセンシャルセンツ ハンド&ボディケア

精油香る「エッセンシャルセンツ」シリーズに、ハンド&ボディケアアイテムが新登場。THREE独自の精油科学とマッサージメソッドを掛け合わせることで、心・からだ・肌に深いリラック感を。

■ 株主さま向けイベント・動画配信

当社グループの事業内容や文化活動へのご理解を一層深めていただけるよう、株主さまを対象としたイベントの開催や情報発信を行っております。



ブランド紹介 動画配信

基幹ブランドであるオルビスの成長の秘密について、ブランドの強みや特長を交えてわかりやすくご説明します。オルビス代表山口裕絵が出演いたします。株主さま専用オンラインサイトにて、2025年10月下旬の配信を予定しております。

ポーラ化成工業 TDC 見学会

2024年に稼働を開始し、研究から生産まで一气通貫したハイレベルなものづくりを実現しているテクニカルディベロップメントセンター(TDC)をご案内します。



開催概要	日時	2025年 11月25日(火)	場所	ポーラ化成工業(株) 横浜事業所 所在地 神奈川県横浜市戸塚区柏尾町560	抽選
	申込方法	株主さま専用オンラインサイトから受け付けております。ログイン方法や応募条件の詳細は、株主さまに郵送しておりますご案内書面をご確認ください。			

8月26日 ポーラ青山ビルディング 土浦亀城邸・ポーラ文化研究所 見学会を開催しました



東京都指定有形文化財(建造物)「土浦亀城邸」と「ポーラ文化研究所」をご見学いただきました。当社グループが培ってきた文化的資産に触れ、参加者の皆さまから高い評価をいただきました。

※見学会は毎回多数のご応募をいただいておりますが、運営の都合上すべての方に参加いただくことが難しいため、抽選とさせていただきます。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 株主優待

当社の株主優待は、保有株式数と保有期間に応じて株主優待ポイントを進呈し、保有ポイントの範囲内で株主優待対象商品(当社グループ商品等)からお好きな商品と交換いただけます。

株主優待制度一部変更のお知らせ

当社株式を中長期にわたり継続的に保有いただくことを目的に、2026年12月末の株主さまを対象とした株主優待(2027年3月申込開始予定)より、株主優待制度を一部変更いたします。

	現行		変更後	
	2025年12月期まで		2026年12月期から	
対象株主さま	毎年12月末日の当社株主名簿にて1単元(100株)以上保有の株主さま		毎年12月末日の当社株主名簿にて1単元(100株)以上保有の株主さまのうち、前年12月末日から継続して1単元(100株)以上保有する株主さま	
長期優待ポイント	3年以上保有で	+20ポイント	3年以上保有で	+20ポイント
			5年以上保有以降	5年の節目ごとに5ポイント進呈

株主優待制度一部変更に関する詳細については、[こちら](#)からご確認ください。

2024年12月末の株主さまを対象とした株主優待は、本年5月で受付を終了いたしました。2025年12月末の株主さまを対象とした株主優待のお申込みは、2026年3月の開始を予定しております。対象株主さまには、お申込み期間が近づきましたらご案内をお送りいたしますので、楽しみにお待ちください。

文化支援活動

化粧文化ギャラリー

化粧文化を学術的に探究してきたポーラ文化研究所。ギャラリーでは化粧文化資産に関する展示、書籍閲覧、ギャラリートークやワークショップなどの多彩なプログラムを展開しております。

入室無料

トルクメン ジュエリー Turkmen Jewelry——祈りの造形

2025年10月2日(木)～2026年4月3日(金)

独自の文化を築いてきたトルクメンの人々の装身具を展示

ハート型背飾リテケ族 18世紀末あるいは19世紀初期



ポーラ文化研究所 化粧文化ギャラリー

東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビルディング 1階
ポーラ文化研究所内
開室時間 毎週木・金曜日 ※木曜日は予約制
11:00～17:00(最終入室は16:30まで)

ウェブサイトはこちら

ポーラ ミュージアム アネックス

ポーラ・オルビスホールディングス本社ビルの3階にあり、気軽にアートを体感していただけるよう、年間を通じ、無料でご覧いただける企画展を展開しております。

入場無料

鈴木のぞみ「Slow Glass — The Mirror, the Window, and the Door」

2025年10月3日(金)～10月26日(日)

会期中無休 ※10月17日(金)は18:00閉館



《Light of Other Days: 吉田理容室壁に設えた大きな3枚の鏡》2022年
提供: アーツ前橋 写真: 木暮伸也 ©Nozomi Suzuki

ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)
東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階
開館時間 11:00～19:00(最終入場は18:30まで)

ウェブサイトはこちら

ポーラ美術館

ポーラ・オルビスグループは文化及び芸術の振興を目的とするポーラ美術館の活動を支援しております。

入館料

- 大人(シニア含む) 2,200円
- 高校生・大学生 1,700円
- 中学生以下 無料

ゴッホ・インパクト ——生成する情熱

2025年5月31日(土)～11月30日(日)

会期中無休

フィンセント・ファン・ゴッホ《ヴィグレラ運河にかかるグレーズ橋》1888年 ポーラ美術館



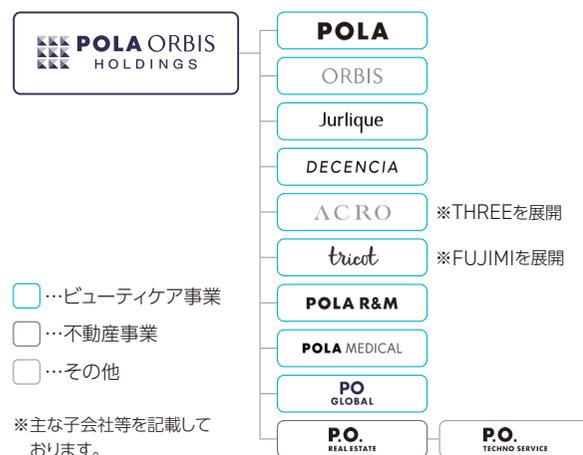
公益財団法人 ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

TEL 0460-84-2111
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285
開館時間 9:00～17:00(最終入場は16:30まで)

ウェブサイトはこちら

状況により変更となる場合がございます。ウェブサイトで最新情報をご確認の上、ご来館いただきますようお願い申し上げます。

グループ組織図 (2025年6月30日現在)



コーポレートコミュニケーション

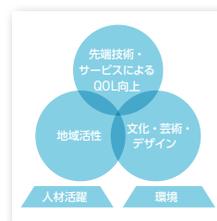
統合レポート

社長メッセージや中長期戦略を詳しく掲載した統合レポート2024を発行しました。



サステナビリティへの取り組み

当社グループのサステナビリティへの取り組みを詳しくご紹介しています。



公式インスタグラム

当社グループの情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月末日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	

未払い配当金のお支払いや株式事務に関する一般的なお問い合わせは、下記の当社株主名簿管理人にお申し出ください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
☎0120-232-711 (通話料無料)